

看護部

1. 看護部理念

「私たちは、患者さんの立場に立ち 思いやりのある看護を提供します」

基本方針

- 1) 自分で考え、行動できる人材を育成する
- 2) 安全・安心な看護サービスを提供する
- 3) 経営に参画し、病院組織の一員として役割を遂行する

2. 令和5年度看護部目標（別表1）

- 1) 地域住民に選ばれ、事業計画に向けた病床運営を安定して行う
- 2) 専門職として自律した看護実践を通し医療・看護の質を向上する
- 3) 働き続けられる職場づくりをする

3. 看護部運営概要について

少子高齢社会において地域包括ケアシステム推進のために今後さらに外来や地域連携支援部の強化が必要になると考えます。そのため、外来と訪問看護の主任看護師（マネジャー）を各1名増員し、体制の見直しと教育体制の強化を図りました。

また、新たに院内救急救命士を採用しました。新たな職種の採用であり教育体制の構築と協働することの多い看護部にまず、所属することとしました。日当直の救急外来の対応に大きな力を発揮しています。医師・看護職の働き方改革に向けて、院内救急救命士を増員し、タスクシフト・タスクシェアを進めたいと考えます。

2020年に国内で新型コロナウイルス感染症患者が確認されて以降、帰国者接触者外来、発熱外来、入院患者の受入れ、ワクチン接種等の対応を行ってきました。新型インフルエンザ等発生時における診療継続計画（BCP）に基づいた対応と修正を行いながら、感染対策チームを中心に院内外と協働をはかりながら乗り越えてきました。新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い、9月末に発熱外来や感染症患者の受入れ病棟を閉鎖しました。同時に今後の患者の動向や疾患の変化を見据え病棟の再編成に対応しました。引き続き、一般病棟で感染症対応を行います。

今年度新たにDCT（認知症ケアチーム）を立ち上げました。認知症看護認定看護師を中心に多職種と認知症看護の実践能力の強化に取り組みました。せん妄患者の看護、身体的拘束解除に向けた取り組みをすすめます。

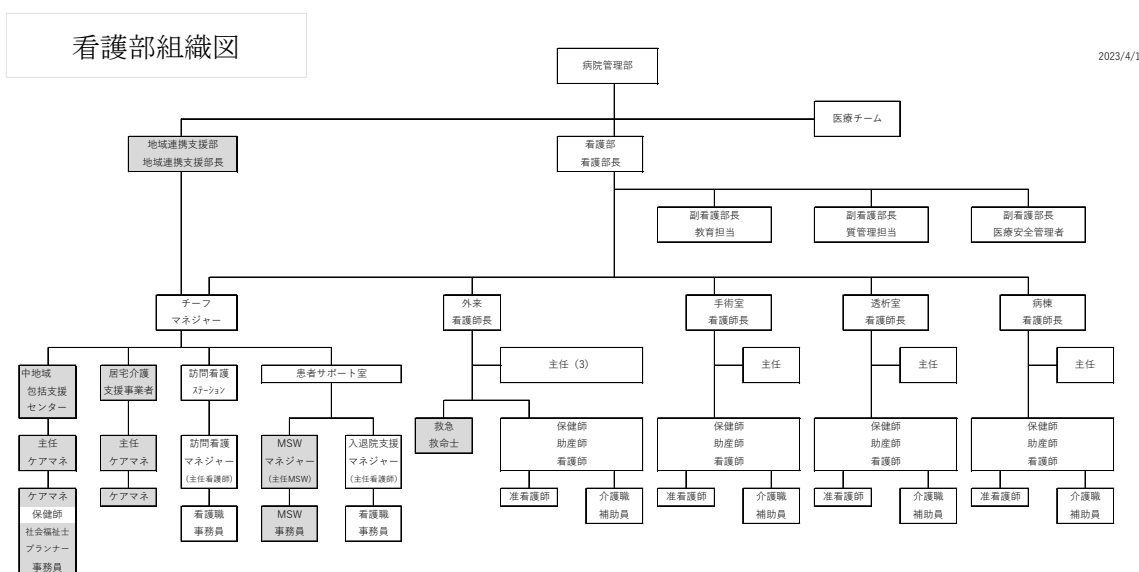
「行き先が不透明で、将来の予測が困難な状況」にあるVUCA（ブーカ時代）と言われる中、地域のニーズに応えるために、多職種と協働し、医療・看護の質向上のために努めてまいります。

4. 看護職員動向について

令和5（2023年）年度4月の看護職員数は、363名（保健師17名、助産師18名、看護師262名、准看護師8名、介護福祉士20名、看護介護補助員38名）でスタートしました。令和5年度の看護職正職員採用者数は22名（新卒者20名、中途採用者2名）、退職者数は30名、転入者1名、転出者8名でした。退職の理由として、他部門への興味やキャリアアップのための他施設への転職が約4割。また、出産育児などが13%、その他、家事介護・入籍に伴う転居・病気による退職等がありました。

5. 令和5年度看護部管理者

役職名	氏名	役職名	氏名
看護部長	金泉 まゆみ		
副看護部長 教育担当	池野 美奈子	副看護部長 質管理担当	石橋 朋子
医療安全管理者 ／副看護部長	矢嶋 真由美		
地域連携支援部 チーフマネジャー	樫出 芳子	外来師長	北村 貴子
透析室師長	山田 明子	手術室師長	池田 美鶴
東3階病棟師長	村松 千代子	西3階病棟師長	今井 良子
東4階病棟師長	行田 由香	西4階病棟師長	下條 英子
東5階病棟師長	小関 浩子	西5階病棟師長	小笠原 直美
東6階病棟師長	綱島 泰子	西6階病棟師長	横関 泰江



6. 専門看護師・認定看護師・認定看護管理者

専門・認定看護分野	氏名	認定年度
がん看護専門看護師	横関 泰江	平成 28 年度
皮膚・排泄ケア認定看護師	中村 文枝	平成 20 年度
救急看護認定看護師	春川 一樹	平成 25 年度
感染管理認定看護師	徳原 伸子	平成 26 年度
認定看護管理者	金泉 まゆみ	令和 3 年度
糖尿病看護認定看護師	小林 美和子	令和 4 年度
認知症看護認定看護師	島田 美樹	令和 4 年度
感染管理認定看護師	永井 惇美	令和 5 年度

7. 特定行為研修修了者

氏名	修了年度	修了区分
徳原 伸子	令和元年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・ 感染に係る薬剤投与関連 ・ 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）
小林 美和子	令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
島田 美樹	令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
佐藤 絵梨	令和 5 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 術中麻酔管理領域 ・ 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）
永井 惇美	令和 5 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・ 感染に係る薬剤投与関連

資格取得者及び研修修了者を活用し、院内はもちろん地域へも看護の専門性を発揮する機会を拡大していきたいと考えております。

目標・具体的実践内容	具体的実践結果	評価・課題
<p>1. 地域住民に選ばれ、事業計画に向けた病床運営を安定して行う</p> <p>1) 患者に合わせた適切で質の高い看護を提供する</p> <p>① 看護過程の展開、適切なケアを判断し実施</p> <p>② 各カンファレンスを実施し、看護の質向上を図る</p> <p>③ 各部署で質向上のための指標を決め取組む</p> <p>④ 退院後の生活を見据えた退院支援の実施</p> <p>⑤ 患者の回復過程に合わせた有効な病床管理</p> <p>⑥ クラスターの発生による入院制限を防止</p> <p>2. 専門職として自律した看護実践を通し医療・看護の質を向上する</p> <p>1) キャリアラダーを活用し、個人の課題を支援する</p> <p>① キャリアラダー運用開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任看護師・2年目看護師が申請、認定 <p>② 部署のコアメンバーとして、課題解決に向けて行動できる人材を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント研修/前年度受講者のフォローアップ研修 <p>2) 認知症看護実践力を向上する</p> <p>① 多職種と協働し認知症状の悪化を防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DCTの立上げ・認知症ケア加算Iを取得 <p>② 倫理観の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定に関する事例の抽出 ・看護職の倫理綱領が臨床におけるどの場面でその意味を成しているのかを考える ・それぞれレポートの作成および発表 <p>3. 働き続けられる職場づくりをする</p> <p>1) タスクシェア・タスクシフトにより、安全に業務を効率化する</p> <p>① 看護介護補助者との協働</p> <p>② 救急救命士との協働</p> <p>③ 勤務体制と業務を見直す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護補助体制充実加算等を維持 ・業務を分解しタスクシェア・シフトを進める ・変則2交代夜勤の導入 ・人材の必要な時間帯への人材の投入 <p>2) 働きやすい職場環境への取り組み</p> <p>① 職員アンケート調査の実施(11月)</p> <p>② 中途採用者支援、支援の仕組みづくり</p>	<p>1-1)</p> <p>前期目標達成部署:4部署 未達成部署:7部署 各部署が目標達成に向けた多くの取り組みを実践した。</p> <p>⑥クラスター発生前期2件/後期1件、入院数への影響減少</p> <p>○病棟編成実施。平均入院患者数:264.3名(2月末現在)4,7,11,12月が少ない。</p> <p>2-1)</p> <p>①遅れたが申請予定者23名中20名の準備が整った。</p> <p>②計画通り研修を行い、研修の目標も達成した。</p> <p>2-2)</p> <p>①1月DCT立上げ、2月活動開始、3月加算算定開始。</p> <p>②各部署にて倫理カンファレンスを実施、倫理事例検討会を実施し、アンケートから学びを得たことを確認した。</p> <p>3-1)</p> <p>①研修の実施と清潔ケアの協働をモデル病棟から業務拡大の準備中。</p> <p>②1年目教育計画完成。協働により救外看護が向上。</p> <p>③2病棟で2か月間、変則2交代夜勤を試用運用実施し、課題を抽出、改善中。</p> <p>3-2)</p> <p>①シフト調整に対し昨年2.35、今年度2.44。満足・不満足群の差が大きい。</p> <p>②「中途採用者支援スケジュール」問題点の把握、中途採用者と懇談会を実施。</p> <p>中途採用者の5年以内離職率9.7%(昨年度17.1%)</p>	<p>1-1) 目標達成部署9部署に到達しなかった。しかし取り組み過程で改善がみられたことは評価できる。継続して課題に取り組む。</p> <p>○平均入院患者300名以上の目標差-36名。患者数の減少時期の患者確保対策と年度末の職員確保により入院患者の増加に対応する。</p> <p>2-1) ①対象者の8割以上(87.0%)が審査待機中である。認定者拡大に向け継続する。</p> <p>2-1) ②次年度はキャリアラダーに沿った企画の検討を行う。</p> <p>2-2) ①認知症看護実践能力の向上のために体制を整備する。</p> <p>2-2) ②長期間かけ考える機会となった。倫理観向上のため継続する。</p> <p>3-1) ①正しく理解し実践するために継続する。</p> <p>3-1) ②協働業務拡大のため2年目以降の体制を構築する。</p> <p>3-1) ③課題を改善し働きやすい勤務体制の拡大に向け継続。</p> <p>3-2) ①目標とした「シフト調整」の平均値は改善したが課題が多く継続が必要である。</p> <p>3-2) ②課題の改善を実施し経緯を注視する。</p>

院内・院外発表

【院外発表】

1. 透析室 吉野 綾子
豪雪事例から見えた災害対策の現状と今後の課題
令和5年11月17日、18日 第26回日本腎不全看護学会学術集会総会 ポスター発表
2. 地域連携支援部 ○鈴木 梢 武田 文子 高桑 美奈子
意思決定が困難な状況下における退院支援
ー患者の意思を推定し尊重した家族への支援過程を振り返ってー
令和5年11月11日(土) 動画配信 厚生連看護部研究発表会

【院内看護研究発表会】

令和6年3月19日(火)

1. 西3階病棟 ○武田すみれ 岸 恵
麻痺が残存した壮年期の患者への社会復帰を見据えた退院支援
～回復期リハビリテーション病棟看護師の関りを振り返って～
2. 手術室 ○本多 絵里香 白倉 早紀 藤田 理佐
事例を通した術前訪問の評価
～不安の軽減につながる術前訪問を目指して～
3. 西5階病棟 ○赤石 吾郎 池田 沙織 中村 さくら
終末期にある患者、家族の気持ちに寄り添う意思決定支援
～延命治療に対する家族の思い～

令和5年度 新人看護師入職時研修プログラム 実績

月日	時間	研修項目	目的	目標	担当	参加者
4/4 (火)	8:30～ 9:00	看護部の紹介	看護部についての理解を深める	1. 看護部の組織について理解できる 2. 看護部理念、目指す看護師について理解できる	看護部長	20名
	9:00～ 10:00	専門職業人としての心構え	専門職業人としての意識を持ち、看護に臨むことができる	1. すべての看護実践は、看護の倫理綱領に基づくことを知る 2. 「看護職員として必要な基本姿勢と態度」「看護実践における管理的側面」で求められる項目を知る 3. 専門職業人として、継続学習の必要性がわかる	副看護部長	20名
	10:10～ 11:10	研修の概要	新人看護師研修の必要性を理解し、今後積極的に参加することができる	1. 新人看護職員研修の概要を知る 2. 新人研修ファイルの活用方法がわかる	教育委員会： 師長主任	20名
	11:20～ 12:00	オリエンテーション	配置部署の特徴を知る 配置部署のスタッフに挨拶ができる 入職者健診の採血を各部署で行う（Tスポット採血も実施する）		看護師長	20名
	13:00～ 13:30	看護必要度	看護必要度を評価する必要性がわかる	1. 当院の看護体制と必要度を知る 2. 必要度の評価項目と評価基準を知る	看護必要度委員会：	20名
	13:30～ 14:00	ナーシングスキル	看護技術におけるナーシングスキルの活用方法について学ぶ	1. ナーシングスキルへのログインが実践できる ナーシングスキルの利用方法が理解できる	基準手順委員会：	20名
	14:30～ 17:00	入職者健診				20名

月日	時間	研修項目	目的	目標	担当	
4/5 (水)	8:30~ 9:30	安全管理	看護職における医療安全対策の必要性を理解することができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全の意義を理解する 2. 人間特性を理解し自分も間違える存在であることを自覚する 3. インシデント報告の必要性を理解する 	医療安全管理者：	20名
	9:30~ 12:00	与薬 (経口)	安全で確実な与薬業務に必要な知識を得ることができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当院の薬袋と処方箋の確認方法が説明できる 2. 6R に沿って安全な与薬業務の演習ができる 処方から与薬までの業務を理解し、インシデントにつながる業務であることに気づくことができる 	医療安全対策委員会：	20名
	13:00~ 17:00	感染防止	標準予防策について学び、これからの看護実践に必要な感染対策の知識・技術を身につける	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手指衛生の 5moments が理解できる 2. 個人防護具の必要性を知り、正しい着脱方法を体験できる 3. 環境整備の必要性を理解できる 4. 医療廃棄物の分別方法が説明できる 5. 針刺し・切創事故の危険性を知る 6. 感染経路を知り、経路別予防策のポイントを理解する 7. N95 マスクを正しく装着できる 	感染委員会： 感染管理特定認定看護師：徳原看護師	20名

月日	時間	研修項目	目的	目標	担当	
4/6 (木)	8:30～ 12:00	看護記録	看護記録の概要と電子カルテの取り扱い方法が理解できる	1. 看護記録の概念が説明できる 2. 看護記録の必要性が説明できる 3. 電子カルテから必要な情報収集の方法が理解できる	記録委員会：	20名
	13:00～ 17:00	褥瘡予防の基本	褥瘡発生のメカニズムを知り、日々の看護に予防の視点を持ってあたる事ができる	<褥瘡予防の基本> 褥瘡予防の基本がわかり、臨床で実践できる	褥瘡委員会： 皮膚排泄認定看護師：	20名
		体位変換・オムツ交換	基本的な体位変換・オムツ交換の知識、技術を身につけることができる	<体位変換> 臥床患者の体位変換が出来る <おむつ交換> 臥床患者のオムツ交換ができる	中村看護師	20名
4/7 (金)	8:30～ 12:00	シャドー研修	配置部署の業務を知り、リアリティを体感する	1. 病棟の雰囲気を感じ取る 2. 体位変換、オムツ交換を見学する 3. 経口与薬の場面を見学する	プリセプター	20名
	13:00～ 17:00	患者観察の基本	1. 視診・触診・聴診による患者観察の方法を知る 2. 患者の変化する状態(急変)の前駆症状を効果的に発見できる観察方法を習得する	1. 視診と触診により、呼吸数・脈拍数を測定することができる 2. 呼吸音を聴取することができる 3. GCS を用いて、意識レベルを評価することができる 4. 系統立てた患者観察を実践することができる	救急委員会 救急認定看護師： 春川看護師	20名

月日	時間	研修項目	目的	目標	担当	
4/10 (月)	8:30～ 12:00	皮下・筋肉 注射	ガイドラインに 沿った皮下・筋肉 注射の方法が理 解できる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 皮下・筋肉注射の目的がわかる 2. 皮下・筋肉注射の注射部位がわか る 3. 皮下・筋肉注射のリスク、身体へ の侵襲がわかる 4. 針刺し事故防止の行動がとれる 5. シミュレーターを使用して皮下・ 筋肉注射が実施できる 6. 薬液の吸い上げができる 	基準・手 順委員 会：	20名
	13:30～ 17:00	シャドー 研修	配属部署で業務 を知り、リアリテ ィを体感する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業務の流れを知る 2. 患者の一日の流れを知る 3. カルテからの情報収集を見学する 4. 静脈注射、点滴の準備を見学する 5. 静脈注射、点滴の実施を見学する 	プリセ プター	20名
4/11 (火)	8:30～ 12:00	採血	ガイドラインに 沿った採血方法 を習得する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 採血の目的が理解できる 2. 採血管の種類や採血後の採血管の 取り扱いが理解できる 3. 採血部位が理解できる 4. 採血によるリスク、身体への侵襲 が理解できる 5. 確実な止血の方法が理解できる 6. シミュレーターを使用して採血が 実施出来る 	教育委 員会：	20名
	13:00～ 17:00	静脈注射・ 点滴	ガイドラインに 沿った静脈注射、 点滴の方法を習 得する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静脈注射、点滴の目的が理解でき る 2. 静脈注射、点滴部位が理解できる 3. 静脈注射、点滴によるリスク、身 体への侵襲が理解できる 4. シミュレーターで静脈注射、点滴 が実施出来る 5. 点滴施行中患者の観察や管理方法 が理解できる 	教育委 員会：	20名

柏崎総合医療センター看護部 教育委員会 新人教育担当

令和5年度 研修参加状況

看護学会

主 催	学 会 名	月 日	参 加 者
日本農村医学会	日本農村医学会 新潟地方会第70回例会	4月22日	金泉 まゆみ
日本感染管理ネットワーク	日本感染管理ネットワーク学会学術集会	5月20、21日	徳原 伸子
日本母性看護学会	第25回日本母性看護学会	5月28日	脇 佐弥香
日本創傷オストミー失禁管理学会	第32回日本創傷オストミー失禁管理学会学術集会	7月9日	中村 文枝
日本褥瘡学会	第25回日本褥瘡学会学術集会	9月1、2日	中村 文枝
日本認知症予防学会	第12回日本認知症予防学会学術集会	9月15日	島田 美樹
新潟県看護協会	2023年度新潟県看護協会看護学会	11月30日	池野 美奈子 村松千代子 星野ユリ子
日本糖尿病妊娠学会	第39回日本糖尿病妊娠学会年次学術集会	11月17、18日	小林 美和子
日本腎不全看護学会	第2/6回日本腎不全看護学会学術集会・総会	11月18、19日	吉野 綾子
日本救急看護学会	第25回日本救急看護学会学術集会	11月24、25日	春川 一樹

令和5年度 研修参加状況

短期・長期研修

主 催	研 修 名	月 日	参 加 者
新潟県看護協会	認定看護管理者教育過程 「ファーストレベル」	7/27～10/11	竹田 綾 吉野 綾子
新潟大学大学院保健学研究科保健医療高度専門職教育センター	感染管理認定看護師教育過程 (B過程)	令和4年7月～ 令和5年6月	永井 惇美
株式会社Vitaars	Vitaars第3回特定行為研修 術中麻酔管理領域パッケージ+PICC	令和4年10月4日～ 令和5年6月	佐藤 絵梨
医療安全全国共同行動	医療安全管理者 養成研修	6月～9月 (e-ラーニング+オンライン演習)	綱島 泰子
医療安全全国共同行動	医療安全管理者 養成研修	8月～11月 (e-ラーニング+オンライン演習)	山田 明子
新潟県	新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会	8/2～10/27	山崎 希里

新潟県看護協会研修

研修項目	研修会名	月 日	参加人数
「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	新潟県委託事業 認知症対応能力向上研修(3日間) (*認知症ケア加算2の施設基準に該当する研修)	8月22日29日 9月6日	1名
	「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」	3月2日	2名
リーダーと連動した継続教育	小論文・レポートの書き方	5月15日	2名
	地域につなぐ外来看護ー求められる専門性	7月24日	2名
	家族をまるごと看護する～家族看護の考え方と家族アセスメント～	8月25日	1名
	施設内研修企画に必要な基礎知識(2日間)	8月9日 9月1日	1名
	看護現場で活かせるフィジカルアセスメント -急性期編	9月4日	2名
	メンタルヘルスケア(中堅編) ～生き活きと看護を実践するためのストレスマネジメント～	9月13日	1名
	地域包括ケアに求められるカンファレンススキル	9月27日	2名
看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	地域包括ケアシステム推進に取り組む看護管理者の役割	8月7日	1名
	看護管理入門 看護マネジメント はじめの一步	10月23日	2名
	クレームの無いよりよい組織づくり	11月10日	1名
	身体抑制をしない看護 ～身体抑制ゼロをめざして～	12月2日	2名
	新潟県委託事業 新人看護職員研修における教育担当者研修	12月8日 12月22日	1名
医療安全研修	看護職のための医療安全 ～一人一人が取り組む医療安全～	6月13日	1名
	医療現場の安全力を高めよう ～組織における医療安全活動のすすめかた～	9月12日	1名
	看護記録と法的責任 ～看護記録はどうあるべきか～	9月22日	1名
専門性の高い看護職員育成事業	つながる・ひろがる・たしかめる ～専門性の高い看護～	3月1日	1名

WLB推進事業	WLB推進事業研修 「育児をしながら働くために」	11月22日	1名
訪問看護推進事業	在宅看護(入退院支援)研修会 公開講座	6月15日 10月28日	1名
看護の日事業	「生きるを伝える」	5月12日	3名
看護協会 看護連盟合同	「新たな指針を活用しよう！」 ～看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針の改定～	2月17日	3名
資格認定教育	認定看護管理者教育課程セカンドレベル フォローアップ 実践報告会	12月7日	1名
職能研修	令和5年度新潟県看護協会 看護師職能 I・II 合同集会	6月14日	1名
	令和6年度新潟県看護協会 保健師職能集会	6月14日	1名

新潟県厚生連研修

研修会名	テーマ	月 日	参加者
教育研修Ⅰ	看護倫理:ともに考えよう看護倫理!	8月19日	4名
教育研修Ⅱ	新人研修:自分の価値に気づこう!	6月25日 7月8日	新人看護師 19名
教育研修Ⅲ	リーダーシップ研修Ⅰ 貴方らしいリーダーシップを磨こう!	7月22日	3名
教育研修Ⅳ	リーダーシップ研修Ⅱ スタッフ育成にいかすティーチングとコーチング	9月23日	3名
教育研修Ⅴ	介護員研修 ブラッシュアップで介護のスキルを高めよう	10月7日	3名
看護部研究発表会	ともに学び ともに育つ	11月11日	32名
トピックス研修	看護研究Ⅱ 研究論文の作成 ～研究成果を論文にまとめよう!～	6月29日	動画配信 6月29日 29名視聴
トピックス研修	看護研究Ⅰ「研究の絞り込みと計画書」	令和5年 2月17日 3月1日(録画)	動画配信 2月17日 22名視聴 3月1日 9名視聴
キャリアラダー実践報告会	キャリアラダー実践報告会 ～キャリアラダーの円滑な運用に向けて～	6月15日	10名
主任研修	問題の本質を理解し課題を解決しよう!	9月2日	4名
師長研修	これで大丈夫!!次年度の目標設定 ～組織を正しく分析しよう～	11月25日	6名
看護部長 副部長研修	看護管理者に必要なモチベーションマネジメントの実際	8月26日	金泉 まゆみ 矢嶋 真由美 池野 美奈子
管理監督者 研修 (拡大版)	「厚生連病院の発展・向上に向けた変革 推進プラン」と「第十一次中期経営計画 の概要」	10月31日	看護師長以上 16名

その他の学会・研修

主催	テーマ	月日	参加者
S-QUE研修会 日本マネジメント 学会	‘23「重症度、医療・看護必要度」評価者 及び院内指導者研修	6月1日～8月31日	12名
S-QUE研修会 全日本病院協会	看護補助者の更なる活用のための看護 管理者研修	5月22日	安達 桂子 山田 和恵 林 幸恵
日本医療メディエー ター協会	医療コンフリク・トマネジメントセミナー	5月27、28日 基礎編 導入編	北村 貴子
新潟県医師会	医療コンフリク・トマネジメントセミナー	6月3、4日 基礎編	檜出 芳子
国立研究開発法人 量子科学技術研究 開発機	令和5年度第2回原子力災害医療中核人 材研修	6月6、7日	春川 一樹
上越総合病院	2023年度NST療法士認定制度臨床実地 修練カリキュラム	6月20、21日 7月4、11、19日	布施 美欧
日本看護協会	研修で学びと実践をつなぐ指導者のため の研修	7月12日	阿部 麻衣
日本病院会	感染対策担当者のためのセミナー	7月29日 11月25日 1月20日	小関 浩子 山田 明子
新潟大学歯学総 合病院 肝疾患相談センター	第1回肝炎医療コーディネーター養成研 修	7月20日	横関 泰江 高橋 彩 本田 遥菜 阿部さつき
新潟県立がんセン ター	新潟県立がんセンター新潟病院 ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プ ログラム	8月26日 8月27日	村松 静香

看護学生 実習受け入れ状況

受け入れ学校名	実習科目	人数
独立行政法人 国立病院機構 新潟病院附属看護学校	成人看護学Ⅱ・Ⅲ	40名
	老年看護学Ⅱ	17名
	母性看護学	34名
	老年看護学(新カリキュラム)	9名
	急性期看護学(新カリキュラム)	12名
	終末期看護学実習(新カリキュラム)	12名
	成人看護学(新カリキュラム)	18名
	在宅看護学	10名
長岡崇徳大学 看護学部	母性看護学	11名
	小児看護学	15名
	成人看護学Ⅰ	13名
	統合実習	4名
県立看護大学 看護学部	在宅看護学	4名



令和5年度 看護部長、副看護部長、看護師長



令和5年度 主任看護師



令和5年度 新人職員